



令和3年3月3日

エールエール A 館でライトアップ in グリーン運動 ～世界緑内障週間 啓発活動～

中途失明原因の第1位となっている緑内障について、早期診断・治療を呼び掛ける「世界緑内障週間」(3月7日～13日)に、建物をグリーンにライトアップする活動を行います。広島市ではエールエール A 館(広島市南区松原町9-1)と、宇品大橋で実施します。

緑内障は40歳以上の20人に一人は罹患していると報告されています。放置すれば失明の恐れもある疾患ですが、治療する薬剤も増え、手術療法も選択肢が広がっています。早期発見し、継続治療することで日常生活に支障ないレベルにとどめるケースも増えています。

日本緑内障学会ではこうした正しい知識を広め、眼科受診を促す目的で、緑内障のシンボルカラーのグリーンにライトアップする啓発活動を展開しています。これを受け広島大学病院眼科でも活動に取り組み、今回は広島駅南口開発株式会社のご協力で、実現しました。

点灯場所：エールエール A 館南東角の壁面(広島市南区松原町9-1)
宇品大橋(広島市南区)

点灯期間・時間：3月7日(日)～13日(土)(7日間) 日没～22:00

【お問い合わせ先】

広島大学病院 広報・調査担当役 古市
Tel : 082-257-5418 FAX : 082-257-5087
E-mail : byo-toku-chousa@hiroshima-u.ac.jp
発信枚数：A4版 1枚(本票含む)